

《 競 技 注 意 事 項 》

1. 規則について

本大会は、2019 年度日本陸上競技連盟競技規則及び大会申し合わせ事項による。

2. 競技場について

競技場が開門してない場合は、絶対に場内に入らないこと。**開門時間 7:30 (予定)**

競技場は、全天候舗装である。トラック走路の厚さは13mm、フィールド助走路の厚さは18mmである。スパイクのピンの長さは9mm以下とする。ただし、走高跳、やり投のピンの長さは12mm以下とする。これらのスパイクピンの直径は、先端が4mm以内、スパイクのピンの本数は11本以内とする。走路の保全と競技者の安全のため、競技規則第143条を厳守すること。

3. 練習について

練習は、競技役員の指示に従って、補助競技場内で行うこと。フィールド競技の練習は、招集完了時刻を過ぎてから競技場内で行うことができる。特に、投てき練習は、競技役員の指示に従って、試技順に競技場内で行うこと。

最初の競技開始30分前まで主競技場を練習に開放する。その際、1～3レーンは周回練習、5～8レーンはスピード練習とする。ただし、ホームストレートの7・8レーンはハードル練習とし、4レーンにコーンを設置する。なお、競技役員及び競技者以外は、トラック・フィールドに立ち入らないこと。

※ 混成競技のフィールド種目の練習開始時刻は、競技役員の指示に従うこと。

※ 競技場以外のいかなる場所でも投てき練習は禁止する。

※ 三ツ沢競技場周辺の公園内での練習は禁止する。※駐車場内での練習は厳禁。

4. 招集について

招集時刻は、競技日程に記載されたとおりとする。なお、招集時はナンバーカード、スパイクピンの点検と上着、バッグ等の商標の点検を受ける。必ずユニフォームを着用して受けること。

※ リレーのオーダー用紙 (配布は招集所) 提出は、最初のグループ招集完了時刻1時間前までに提出すること。

※ 棒高跳の招集は、競技場ピットで実施する。

※ 2種目同時に出場する競技者は、予めその旨を本人または代理人が競技者係に申し出て「同時出場届」を受け取り、必要事項を記入の上、提出する。

5. ナンバーカードについて

ナンバーカード (有料) は、主催者が用意したままの状態 (縦20 cm、横24 cm) で使用し、安全ピンは各自で用意すること。跳躍種目では、ナンバーカードを背または胸につけるだけでもよい。トラック競技では、招集の際に腰ナンバー標識を受け取り、競技終了直後フィニッシュ地点で返却する。腰ナンバー標識は、右腰や後方につけること。3000m以上の種目では、招集の際に特別ナンバーカードを使用する。特別ナンバーカードは招集の際に受け取り、競技終了直後フィニッシュ地点で返却する。

6. トラック競技について

- ・ 予選の組・走路順については主催者が抽選し、プログラムに記載する。
 - ・ 準決勝、決勝の組・走路順は、本部で抽選し、招集所に掲示する。
 - ・ トラック競技は、すべて電気計時 (1/1000) とする。
 - ・ 同タイムの競技者及びチームについては、写真を細部まで読み取り優劣を判定する。判定できない場合は、同タイムの競技者及びチームの代表者によって抽選とする。ただし、1500mでは同タイム着差なし (1/1000) の場合、次のラウンドに進むことができる。
 - ・ 競技運営上、女子10000mは40分、女子3000mSCは18分、女子5000mWは35分で競技を中止する。
(残り1周通過タイム)
 - ・ 少年男子110mJHの高さは、0.991m、インターバルは9.14mとする。
 - ・ 少年女子B100mHの高さは0.762m、インターバルは8.5mとする。
 - ・ トラック競技のスタートの合図は、イングリッシュコマンドで行い、1回目の不正スタートで失格とする。
 - ・ リレー競技において同一チームの競技者は、同一のユニフォームを着用すること。
- ※ スタート時の不適切行為に関しては、審判長によって警告 (イエローカード) を与えられることがある。

7. フィールド競技について

フィールド競技の試技順は、主催者が抽選したプログラム記載の順番に従い行う。

跳躍競技のバーの上げ方は、次のとおりである。（ただし、荒天の場合は別途指示する。）

種目	練習	バーの上げ方							
男子 走高跳	1m80 又は2m00	1m85	1m90	1m95	2m00	2m03	以後3cm		
女子 走高跳	1m45 又は1m60	1m50	1m55	1m60	1m63	1m66	以後3cm		
男子 棒高跳	4m10 又は4m80	4m20	4m40	4m50	4m60	4m70	4m80	4m90	以後5cm
女子 棒高跳	2m20 又は3m00	2m30	2m40	2m50	2m60	2m70	2m80	2m90	3m00 以後5cm
7種 走高跳	1m20	1m25	1m28	1m31	1m34	1m37	1m40	以後3cm	
10種 走高跳	1m45 又は1m70	1m50	1m53	1m56	1m59	1m62	1m65	以後3cm	
10種 棒高跳	2m30	2m40	2m50	2m60	2m70	2m80	2m90	3m00	以後5cm

※ 第1位及び6名決定のためのバーの上下の範囲は、走高跳では2cm、棒高跳では5cmとする。

※ 走幅跳・三段跳の助走路は、(A)はトラック側、(B)はスタンド側とする。

※ 男子三段跳の踏切板の位置は、砂場より13m00に設置する。

※ 女子三段跳の踏切板の位置は、砂場より10m00に設置する。

※ 走幅跳、三段跳のトップ8の試技は、そのままのA及びBピットで行う。

※ 走高跳、棒高跳の試技時間は優勝が決まり競技者が一人となり大会記録等に挑戦する場合には、定められた制限時間より1分延長しなければならない。

8. 用具について

競技に使用する器具は主催者が用意する。ただし、棒高跳のポール・砲丸・円盤・やり・ハンマーは、各自持参したものを、各競技開始90～60分前までに検査を受けて合格した物は、使用することができる。

※ 少年男子Bの砲丸投の重さは、5.000kgとする。

9. 表彰について

各種目3位までに入賞した者(チーム)は、競技終了後ただちに表彰を行うので、本部表彰者控え場所に待機すること。

10. 抗議について

競技規則146条にもとづき、競技者自身、もしくは代理人から審判長へ口頭でなされる。裁定に不服の場合は、競技者に代わる責任者が抗議申立書と預託金10,000円を総務に提出する。(正式アナウンス後30分以内とする。ただし、同一日に次のラウンドがある場合は、正式アナウンス後15分以内とする。)

11. 欠場について

各種目にやむをえず欠場をする者は、招集完了時刻までに「欠場届」を招集所競技者係に提出すること。「欠場届」は招集所で配布する。

12. 助力について

競技場内での助力は禁止とする。スタンドからの助言については、競技運営ならびに他の競技者の競技に妨げにならない範囲で認めるものとする。なお、文書をもって連絡することや、当該競技場所を勝手に離れることはできない。

また、ビデオ・ラジオ・CD・MD・トランシーバー・携帯電話もしくは類似の機器等を競技場内に持ち込むことができない。(競技規則第144条)

13. その他

本大会各種目6位(6名または6チーム。女子3000mSCと混成競技は3位入賞者3名)に入賞した者は、関東陸上競技選手権に出場できる。(申込書は本部で配布。)

※ 出場者が6名未満の場合でも、入賞した者のみが、関東陸上競技選手権に出場できる。

・ プログラムの訂正は、速やかに庶務係に申し出ること。

・ 使用した観覧席はきれいにし、ゴミは原則として持ち帰りとする。特に、自分たちで持ち込んだダンボール紙等は必ず持ち帰ること。

・ 更衣室は、更衣のみに使用すること。各団体の控室のように使用しないこと。

・ 正面スタンドに、横断幕を張らないこと。

・ 応援は、スタンド席で行う。役員・選手以外のトラック・フィールドへ立ち入りを禁ずる。

※ スタンド最前列では、立っての応援は禁止とする。

・ 貴重品の管理は、各団体・個人で責任をもって行うこと。

・ 全競技終了後は、速やかに競技場外に移動し、ミーティング等は競技場外で行うこと。

・ 三ツ沢公園では競技場外(公園内)にテント・シート等で占有スペースを設置しないこと。